

2018 年度「家族療法基礎講座」プログラム

日本家族研究・家族療法学会は、家族療法の普及と人材育成を目指し、研修体制を完成するべく取り組んでおりますが、「家族療法基礎講座」は、その一環として開講されたものです。本講座は以下の9講座で構成されます。各講座の講師は、その領域の第一人者に務めていただき、『家族療法テキストブック』に沿って、家族療法の基礎理論や基礎概念を学べる内容になっております(なお、この基礎講座は、「認定ファミリーセラピスト」の認定取得要件となります)。皆様のご参加をお待ちしております。

申込受付開始は 2018 年 3 月 1 日からです。

- 第 1 回 2018 年 5 月 20 日 (日)「家族療法概論——基礎理論と歴史」
- 第 2 回 2018 年 6 月 17 日 (日)「多世代伝達モデル」
- 第 3 回 2018 年 7 月 15 日 (日)「構造的モデル」
- 第 4 回 2018 年 9 月 16 日 (日)「コミュニケーション・モデル」
- 第 5 回 2018 年 10 月 21 日 (日)「ミラノ・システムック・モデル」
- 第 6 回 2018 年 11 月 18 日 (日)「対象関係論的・力動精神医学的モデル」
- 第 7 回 2018 年 12 月 16 日 (日)「ナラティブ・セラピー」
- 第 8 回 2019 年 1 月 20 日 (日)「家族心理教育」
- 第 9 回 2019 年 2 月 17 日 (日)「バイオサイコソーシャル・モデル」

時 間 10:00~17:00

場 所 神戸新聞文化センター(ミント神戸 17 階)内 C 教室

(〒651-0096 神戸市中央区雲井通 7 丁目 1-1 ミント神戸 17 階)

定 員 50 名程度(講座により異なります)

参加費 [各回] 会員 7,000 円/非会員 10,000 円/学生 5,000 円

※定員に達し次第締め切ります。また、定員の都合上、会員の参加を優先します。

申込方法 下記項目をご記入の上、ハガキ、FAX またはメールでお申込み下さい。

1 氏名(ふりがな), 2 郵便番号/住所, 3 電話番号, 4 メールアドレス, 5 所属, 6 職種, 7 日本家族研究・家族療法学会会員番号(非会員の場合は、「非会員」と記入), 8 参加希望講座(「講座番号/講座名」講座番号は講座番号①~⑨を記入してください)、9(非会員のみ)受講目的を記載してください。

※なお、この講座は臨床心理士のポイントになります。

お申込み/お問合せ

一般社団法人日本家族療法学会 事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内

Fax.03-6267-4555 E-mail. maf-jaft@mynavi.jp

「家族療法基礎講座」内容

講座番号①「家族療法概論—基礎理論と歴史」 [講師] 榎林理一郎

内容—家族療法とはどのような臨床領域なのか、概論および基礎理論と歴史を学ぶ。

講座番号②「多世代伝達モデル」 (多世代家族療法) [講師] 中村伸一

内容—ボウエンにはじまる多世代家族の理解は、その後、ジェノグラムの表記の展開、家族ライフサイクルの理論などを取りいれて発展してきた。講座ではその理論の説明と DVD 事例を解説することで理解を促したい。

講座番号③「構造的モデル」 (構造派の家族療法) [講師] 中村伸一

内容—ミニューチンの創始した構造派家族療法の発想の起源とその後の展開を解説した後、実際のミニューチンの面接場面(DVD)などに解説を加えながら紹介する。さらにハリー・アポソンの実際の面接を視聴しながら解説する。

講座番号④「コミュニケーション・モデル」 [講師] 村上雅彦

内容—コミュニケーション・モデルは、独特の介入技法を持ったアプローチです。家族療法テキストブックに沿って講義・演習を行います。

講座番号⑤「ミラノ・システムック・モデル」 [講師] 吉川 悟,

内容—ミラノ派のアプローチは、現在最も注目されている「オープンダイアログ」の入り口となった手法であり、かつ MRI の発展ともされています。複雑な手続きと、理論的背景を持つアプローチですが、できるだけ簡便に活用の要点を演習します。

講座番号⑥「対象関係論的・力動精神医学的モデル」 [講師] 渡辺俊之

内容—外的、現実的家族に介入するとき、家族メンバーの心にある対象関係も動きます。狩野は、家族療法家はシステム論と力動精神医学の二つの視点による複眼視的なとらえ方が治療の幅を広げると述べました。心の中にある父親表象や母親表象が現実の家族や生活の中でどのように作用するかを一緒に考えていきましょう。

講座番号⑦「ナラティブ・セラピー」 [講師] 小森康永

内容—ホワイトとエプストンのナラティブ・セラピーに加え、アンダーソンとアンデルセンのアプローチについて、技法だけでなくその認識論などもわかりやすく解説。ゲスト・スピーカーに『会話・協働・ナラティブ』の共訳者、奥野光、矢原隆行の両氏を予定。

講座番号⑧「家族心理教育」 [講師] 後藤雅博

内容—家族心理教育は、様々な持続的な困難を抱える家族を支援するための構造化されたプログラムです。その構造は、問題についての情報を共有すること(教育的部分)と問題から生ずる困難さに対処する技能を学ぶこと(対処技能部分)からなり、目標を家族のエンパワメント

におくことが特長です。講座は講義と演習からなり、家族グループおよび単家族への心理教育を学びます。

講座番号⑨「バイオサイコソーシャル・モデル」 [講師] 渡辺俊之, 上別府圭子

内容—システム理論をベースにしたバイオサイコソーシャル(BPS)な視点からの対象理解は、医療、看護、福祉、教育などすべての領域で重要となります。エンゲルが唱えたバイオサイコソーシャルアプローチを家族療法、家族看護の立場から紹介します。